

浜田市人権教育・啓発推進基本計画の評価・検証について

1 浜田市人権教育・啓発推進基本計画の評価・検証について

施策体系に該当する事業の実施状況を報告し、委員会で評価・検証を行う。

【報告事項（案）】

- ① 事業名（イベント名・取組）
- ② 事業概要
- ③ 事業実施状況
- ④ 成果
- ⑤ 翌年度の事業実施計画
- ⑥ 所管課

2 検討事項

- (1) 上記報告事項の内容（変更・追加・削除など）
- (2) 浜田市人権尊重推進委員会の評価・検証の手法

【記載案】浜田市人権教育・啓発推進基本計画 令和5年度事業実施状況・令和6年度事業実施計画報告書

1 あらゆる場における人権教育・啓発の推進

(1) 学校等における取組

① 人権尊重の精神を基底に据えた教育活動

NO	事業名 イベント名 取組	事業概要	令和5年度事業実施状況 (今年度の事業実施状況)	成果	令和6年度の事業実施計画 (次年度の事業実施計画)	所管課
1	浜田市人権・同和教育協議会	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の人権・同和教育担当教諭が集まり、研修等を行う。	研修、模擬授業、実践資料集を作成した。 (第1回) 7月7日 (第2回) 12月6日 (第3回) 1月26日 ※第2・3回は次の浜田市人権・同和教育主任及び推進者会議と同時開催	模擬授業では、「一斉指導」に加え「対話」を取り入れた学習活動に気づく機会となった。実践資料集は、市内小中学校の「同和問題学習」や「特別の教科 道徳、特別活動」をテーマにまとめ、実践や研修の参考となった。	3回開催する。浜田市人権・同和教育主任及び推進者会議と同日開催する。	人権同和教育室
2	浜田市人権・同和教育主任及び推進者会議	各小中学校の人権・同和教育担当教諭が集まり、人権・同和教育に関する協議、情報交換及び研修を行い、教職員や行政職員の人権・同和教育における資質向上を目指す。	3回開催し、各校の人権教育全体計画の共有や情報交換を行った。 (第1回) 7月7日 (第2回) 12月6日 (第3回) 1月26日 ※第2・3回は前項の浜田市人権・同和教育協議会と同時開催	自校の取組・計画等の紹介と情報共有により、取組時の疑問や課題解決の参考となった。	3回開催する。浜田市人権・同和教育協議会と同日開催する。	人権同和教育室
3	人権作品コンクール	小学生(作文)、中学生(作文・ポスター)のコンクールを開催した。	次のとおり応募があり、入賞作品を選定した。なお、入賞した作品の一部を掲載したリーフレットを作成し、市内全戸に配布した。 ※応募状況 (小学生) ・作文…15編 ※入賞6編 (中学生) ・作文…32編 ※入賞6編 ・ポスター…90点 ※入賞7編	作品の作成を通して、人権について考え、意識啓発につながった。	引き続き人権作品コンクールを開催する。	人権同和教育室

② 発達段階に応じた人権教育

NO	事業名 イベント名 取組	事業概要	令和5年度事業実施状況 (今年度の事業実施状況)	成果	令和6年度の事業実施計画 (次年度の事業実施計画)	所管課
1	人権集会、公開授業	各校で作成する人権教育全体計画を基にした年間指導計画を基に取り組む。	各校で人権・同和教育に関する授業や人権集会が開催された。	各校の状況に応じた取り組みを展開し人権学習時だけでなく、様々な場面で人権を意識することにつながった。	各校で人権・同和教育の授業や集会等を実施する。	人権同和教育室

【記載案】浜田市人権教育・啓発推進基本計画 令和5年度事業実施状況・令和6年度事業実施計画報告書

1 あらゆる場における人権教育・啓発の推進

(1) 学校等における取組

③ 地域ぐるみでの人権教育・啓発の推進

NO	事業名 イベント名 取組	事業概要	令和5年度事業実施状況 (今年度の事業実施状況)	成果	令和6年度の事業実施計画 (次年度の事業実施計画)	所管課
1	地域ぐるみで育てる人権意識講座	主に中学校区を中心とした人権学習会を開催する。学校での人権・同和教育の取組を地域ぐるみで育て、学校教職員、児童・生徒、保護者、関係機関、地域住民等の関係機関が共に学び、地域全体の人権感覚あふれる豊かな人間関係の形成を図る。	中学校（●校）、小学校（●校）、高等学校（●校）で開催された。	当事者や造詣のある講師を招き同和問題や性的マイノリティ（LGBT）等各分野の知識が習得され、人権意識の向上や行動変容につながる。	引き続き各校へ実施を促し、開催する。	人権同和教育室

【記載案】浜田市人権教育・啓発推進基本計画 令和5年度事業実施状況・令和6年度事業実施計画報告書

1 あらゆる場における人権教育・啓発の推進

(2) 家庭・地域・職場における取組

① 家庭における取組

NO	事業名 イベント名 取組	事業概要	令和5年度事業実施状況 (今年度の事業実施状況)	成果	令和6年度の事業実施計画 (次年度の事業実施計画)	所管課
1	PTA研修会への講師派遣	PTA主催の研修会の講師に、当市の指導主事を派遣した。	三隅小学校PTAが開催した教育講演会（テーマ：LGBTQ）に講師を派遣した。	児童や保護者を対象とし、LGBTQに関する知識や状況の把握ができた。	要請に応じて講師を派遣する。	人権同和教育室

② まちづくりセンターにおける取組

NO	事業名 イベント名 取組	事業概要	令和5年度事業実施状況 (今年度の事業実施状況)	成果	令和6年度の事業実施計画 (次年度の事業実施計画)	所管課
1	まちづくりセンター主催の人権講演会等	まちづくりセンター主催で人権課題に関する講演会等を開催した。講師に当市の指導主事を派遣した。	まちづくりセンター（3か所）主催の講演会等へ講師を派遣し、講座等の講師を務めた。 ①小国まちづくりセンター（言葉による暴力） ②長浜まちづくりセンター（差別のない社会を目指して） ③今福まちづくりセンター（思い込みから思いやりへ） ④美又まちづくりセンター（ハンセン病問題を知る～元患者と家族の思い～） ⑤和田まちづくりセンター（同和問題との出会い直し・学び直し①～部落差別の歴史について（平安～江戸時代編）～）	参加者から、過去と現在で世間の受け取り方や認識の違いに気づいたと感想があった。普段から留意することなどを伝え、啓発につながった。	まちづくりセンターからの講師の要請を受け、講師を派遣し啓発に努める。開催までに主催者と内容を詰め、参加者の満足度を高める。	人権同和教育室

③ 企業等における取組

NO	事業名 イベント名 取組	事業概要	令和5年度事業実施状況 (今年度の事業実施状況)	成果	令和6年度の事業実施計画 (次年度の事業実施計画)	所管課
1	職場内研修への講師派遣	企業等の研修の講師に当市の指導主事を派遣した。	市内の企業等（2か所）に講師を派遣した。テーマは次のとおり。 ・ハンセン病 ・性的マイノリティ（LGBT）	人権課題に対する経緯や知識の習得につながり、理解が深まった。	要請に応じて講師を派遣する。	人権同和教育室

【記載案】浜田市人権教育・啓発推進基本計画 令和5年度事業実施状況・令和6年度事業実施計画報告書

1 あらゆる場における人権教育・啓発の推進

(3) 職員等の人権意識向上への取組

① 職員の人権意識の向上

NO	事業名 イベント名 取組	事業概要	令和5年度事業実施状況 (今年度の事業実施状況)	成果	令和6年度の事業実施計画 (次年度の事業実施計画)	所管課
1	浜田市職員人権・同和教育研修	市職員として、人権・同和問題についての知識を深め、あらゆる業務においても人権感覚が必要であること、人権・同和問題の解決が行政の責務であることを再認識するため、浜田市職員人権研修計画として人権研修会を開催。	人権同和教育啓発センターの指導主事を講師としてオンライン形式で研修を行った。 【視聴期間】 令和5年10月24日～11月30日 【内容】 同和問題との出会い直し・学び直し③ ～戦後の同和問題解決の歩みと今日的な問題～	受講率が99.4%であり、多くの職員が受講した。録画配信により、職員の都合に合わせた受講ができた。	引き続き職員の人権研修を実施する。	・人権同和教育啓発センター ・人事課
2	新規採用職員等人権・同和問題研修	浜田市職員研修実施計画に基づき、新規採用職員等を対象に、人権研修を実施する。	人権同和教育啓発センターの指導主事を講師として新規採用職員を対象に研修を行った。 【実施日】 令和5年4月11日 【内容】 まずは人権問題に関心を持とう!!～人権問題に対する基本的な考え方と今日的な問題～	市職員として業務にあたる姿勢や考え方、人権問題を考えるときの指標（モノサシ）、行政が取り組む人権課題について知ることができた。	引き続き新規採用職員を対象にした権研修を実施する。	・人権同和教育啓発センター ・人事課

② 教職員等の人権意識の向上

NO	事業名 イベント名 取組	事業概要	令和5年度事業実施状況 (今年度の事業実施状況)	成果	令和6年度の事業実施計画 (次年度の事業実施計画)	所管課
1	学校教職員の人権・同和問題研修会	小中学校で年度内に2回以上の人権・同和問題の研修会を開催する。内、1回は運動団体を講師に招き開催する。	小学校（16校）、中学校（9校）で開催された。	各校が設定したテーマ、差別の実態・過去の人権問題、当事者の話などを通じ留意することや正しく理解することの気づきを得られた。	引き続き教職員の研修を実施する。	人権同和教育室
2	ふれあいフォーラム（人権・同和教育研究会集會）	教職員、保護者、社会教育関係者、事業所職員、行政、市民が一堂に会し、人権・同和教育や人権・同和教育・啓発について認識を深めるとともに、人権尊重のまちづくりへ向けた実践力を培うため、浜田市教育研究会と協力し開催する。	性の多様性をテーマとして次のとおりフォーラムを開催した。 開催日：8月4日 会場：石中央文化ホール 講師：大賀一樹氏（公認心理師等） 演題：教育現場における性的マイノリティ児童生徒への支援に関する現状と課題	当事者が抱える問題、相談しにくい実態、困りごとの説明、学校で望まれる対応や授業が講義された。講義を通して、教職員の現場でのふるまいを考える契機となった。	8月にふれあいフォーラムを開催する。内容も教育現場で活用できるものを設定する。	人権同和教育室

【記載案】浜田市人権教育・啓発推進基本計画 令和5年度事業実施状況・令和6年度事業実施計画報告書

1 あらゆる場における人権教育・啓発の推進

(3) 職員等の人権意識向上への取組

③ 保健・福祉・医療・消防関係職員の人権意識の向上

NO	事業名 イベント名 取組	事業概要	令和5年度事業実施状況 (今年度の事業実施状況)	成果	令和6年度の事業実施計画 (次年度の事業実施計画)	所管課
1	人権研修会への講師派遣	保育所（認定こども園）・准看護学校の研修の講師に指導主事を派遣した。	保育所（認定こども園）は8園に講師を派遣した。テーマは、子どもの権利条約と保育を取り上げた。 准看護学校には8回講師を派遣した。テーマは、人権尊重に対する基本的な理解を取り上げた。	業務で接する子どもや患者等への適切な働きかけや昨今の人権を取り巻く状況の把握につながり、啓発を図ることができた。	要請に応じて講師を派遣する。内容もこれまでの経過と最近の状況を踏まえ、受講者の理解促進を図る。	人権同和教育室

【記載案】浜田市人権教育・啓発推進基本計画 令和5年度事業実施状況・令和6年度事業実施計画報告書

1 あらゆる場における人権教育・啓発の推進

(4) 関係機関等との連携

① 国、県、人権擁護委員、民生児童委員との協力・連携

NO	事業名 イベント名 取組	事業概要	令和5年度事業実施状況 (今年度の事業実施状況)	成果	令和6年度の事業実施計画 (次年度の事業実施計画)	所管課
1	啓発活動	人権週間(12月4日～10日)で世界人権宣言の意義と人権尊重思想の普及啓発を行う。(主管:浜田人権擁護委員協議会)	該当啓発活動を行い、チラシや啓発物品を配布した。 開催日:12月6日 場所:ゆめタウン浜田	来店者への物品配布により、啓発活動や相談窓口・連絡先が周知され啓発につながった。	引き続き人権週間での啓発活動を行う。	人権同和教育室
2	特設人権相談所の開設	浜田市役所本庁舎・支所内に特設人権相談所を開設し、人権擁護委員による人権相談窓口を開設する。	浜田市役所本庁舎では毎週水曜日、各支所では偶数月に1回開設し、相談を受けた。特設人権相談所の開設日は毎月の市報に掲載し周知した。	窓口の拡大により相談対応ができた。	浜田人権擁護委員協議会と協力し、引き続き特設人権相談所を開設する。	人権同和教育啓発センター
3	人権の花運動	小学校の協力校へ花の種子や球根などを配る。生育を通じて人権尊重思想を育み情操をより豊かにすることを目的とする。	小学校13校へ配布した。	児童が生育に携わることで生命の大切さ、人権を尊重する意識の芽生えが見られた。実施校で学校活動への取り入れ方に工夫がみられる。一例として「総合的な学習の時間」「委員会活動」「全校での取組」がある。	13校で実施する。	人権同和教育室

② まちづくりセンター、学校、PTAとの連携

NO	事業名 イベント名 取組	事業概要	令和5年度事業実施状況 (今年度の事業実施状況)	成果	令和6年度の事業実施計画 (次年度の事業実施計画)	所管課
1	まちづくりセンター職員研修への講師派遣	まちづくりセンター職員を対象に行われる研修の講師に指導主事を派遣した。	LGBTQに関する講義をした。	まちづくりセンター職員の人権意識の向上や、まちづくりセンターの社会教育の拠点機能の強化を図ることができた。	研修へ講師を派遣する。	人権同和教育室

③ 民間団体、企業、自主学習グループとの連携

NO	事業名 イベント名 取組	事業概要	令和5年度事業実施状況 (今年度の事業実施状況)	成果	令和6年度の事業実施計画 (次年度の事業実施計画)	所管課
1	人権を考える市民グループ育成事業	人権をテーマに活動する市民グループが主催する講座等の講師謝金を支援する。	べっぴんの会が主催で次の開催した人権・同和教育講演会を支援した。 開催日:12月10日 場所:石見まちづくりセンター 講師:小林裕介氏(松江市立義務教育学校 玉湯学園 中等部教諭)	現在中学校で実施している人権学習の様子がわかり、参加者自身が受けた内容との違いに気づくことができた。講演会を通じ、日常の振り返りや差別が自分の問題として捉えることにつながった。	人権問題を主題として開催された場合、支援する。	人権同和教育室